

- 問1 1858年に日本とアメリカの間で結ばれた日米修好通商条約には、日本国内で罪を犯したアメリカ人をアメリカの領事が自国の法で裁くことを認め、さらに日本が輸入品に対して自由に関税をかける権利を認めないという内容が含まれていました。このような条約の内容を示す用語の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|-------------------|--------------------|-----------------------|
| 1. 領事裁判権の承認と、関税自主権の欠如 | 2. 裁判権の独立と、貿易の自由化 | 3. 司法権の確立と、保護貿易の推進 | 4. 領事裁判権の欠如と、関税自主権の承認 |
|-----------------------|-------------------|--------------------|-----------------------|
- 問2 19世紀前半、日本の対外政策を批判した知識人の動きとその背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 漂流民の保護という目的を持った非武装の外国船を攻撃した幕府の対応を、世界の情勢を知る蘭学者が批判した。 | 2. 鎖国の継続を主張する保守的な幕臣たちが、異国船打払令の廃止を求めて立ち上がった。 | 3. イギリスの軍艦が長崎に侵入したフエトン号事件をきっかけに、幕府は攘夷の徹底を主張する武士たちを弾圧した。 | 4. オランダ国王による開国の勧告を拒否した幕府に対し、通商の重要性を説く商人たちが全国的な一揆を起こした。 |
|--|---|---|--|
- 問3 幕末から明治初期にかけての貿易の展開が、国内の産業や経済に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 安価な綿織物が大量に輸入されたことで、国内の綿織物業や綿作が大きな打撃を受けた。 | 2. 輸入額が輸出額を大幅に下回り続けたため、国内では金や銀などの貨幣が大量に蓄積された。 | 3. 生糸の輸出が急増したことで、国内の絹織物業が衰退し、原料である繭の生産も中止された。 | 4. 茶の輸出を制限するために、幕府は主要な港を閉鎖し、外国との取引を一部の商人だけに限定した。 |
|---|---|---|--|
- 問4 1840年に始まったアヘン戦争で清がイギリスに敗れたというニュースは、当時の江戸幕府に強い危機感を与えました。これを受けた幕府が、それまでの「異国船打払令」を改め、日本に漂着した外国船に対して薪や水、食料を支給することを認めるために出した法令の名称を選んでください。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------------|----------|-----------|
| 1. 慶安の御触書 | 2. 天保の薪水給与令 | 3. 武家諸法度 | 4. 公事方御定書 |
|-----------|-------------|----------|-----------|
- 問5 19世紀半ば、イギリスが清との貿易における赤字を解消するためにアヘンを密輸し、これを取り締まろうとした清に対してイギリスが軍事攻撃を仕掛けたことで始まった戦争は何か、選びなさい。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|---------|-----------|
| 1. アヘン戦争 | 2. 義和団事件 | 3. 辛亥革命 | 4. 太平天国の乱 |
|----------|----------|---------|-----------|
- 問6 1858年に日本がアメリカなど5か国と結んだ日米修好通商条約などの条約は、日本にとって不平等な内容を含んでいました。この条約において、日本が認めた「日本で罪を犯した外国人を、その国の領事が裁判にかけられる権利」と、日本に認められていなかった「輸入品に対して自国で税率を決める権利」の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|----------------|----------------|------------------|
| 1. 内政不干渉と下関条約 | 2. 領土の割譲と関税自主権 | 3. 領事裁判権と関税自主権 | 4. 領事裁判権と賠償金の支払い |
|---------------|----------------|----------------|------------------|
- 問7 日本の歴史における朝廷と武家政権との関係について述べた次の4つの事象を、時期の古い順に並べたものとして正しい組み合わせはどれですか。
・後鳥羽上皇による倒幕の動きが失敗した後に京都に設置された「六波羅探題」
・足利義満が三代将軍のときに行った「南北朝の合一」
・徳川幕府が天皇や公家の行動を制限するために定めた「禁中並公家諸法度」
・倒幕派が天皇中心の新政府の成立を宣言した「王政復古の大号令」 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 禁中並公家諸法度 → 南北朝の合一 → 六波羅探題 → 王政復古の大号令 | 2. 六波羅探題 → 南北朝の合一 → 禁中並公家諸法度 → 王政復古の大号令 | 3. 南北朝の合一 → 六波羅探題 → 王政復古の大号令 → 禁中並公家諸法度 | 4. 六波羅探題 → 禁中並公家諸法度 → 南北朝の合一 → 王政復古の大号令 |
|---|---|---|---|
- 問8 1858年に江戸幕府がアメリカと結んだ日米修好通商条約の内容において、日本が「関税自主権（かんぜいじしゅけん）」を持たない不平等な条約であったことを示す記述として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 日本が輸入品にかけられる税率を、自国の判断で決定することができない。 | 2. 他国に対して与えた最も有利な条件を、アメリカにも自動的に与える。 | 3. 下田や箱館などの港をアメリカに開放し、燃料や食料を供給する。 | 4. 日本国内で罪を犯したアメリカ人を、日本の法律で裁くことができない。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
- 問9 19世紀後半、江戸幕府は開国から倒幕へと至る激動の時代を迎えました。この時期に起こった「日米修好通商条約の締結」「四国艦隊の下関砲台占領」「薩長同盟の締結」という三つの出来事を、発生した時期の古い順から並べたとき、2番目にくる出来事として正しいものはどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|----------------|----------------|------------|
| 1. 薩長同盟の締結 | 2. 四国艦隊の下関砲台占領 | 3. 日米修好通商条約の締結 | 4. 大政奉還の譲歩 |
|------------|----------------|----------------|------------|
- 問10 江戸幕府が1842年に出した、漂流船への物資補給を認める方針転換の背景について、当時の国際情勢に基づいた説明として最も適切なものはどれか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. オランダ国王から開国を勧告する親書が届き、鎖国体制を根本から見直す必要性を感じたため。 | 2. ロシアの使節ラクスマンが根室に來航し、通商を求めて幕府に強い圧力をかけたことに対抗するため。 | 3. ペリーが浦賀に來航して開国を強く求めたため、対等な交渉を行う準備として方針を緩めたため。 | 4. アヘン戦争で清がイギリスに敗れたことを知り、強硬な攘夷政策による軍事衝突を避けようとしたため。 |
|--|---|---|--|
- 問11 幕末に日本へ來航したペリーの艦隊は、産業革命によって生み出された蒸気機関を搭載していました。この技術革新が航海に与えた歴史的な影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 石油を燃料とすることで、石炭を積むスペースを削減し、船体の小型化に成功した。 | 2. 帆をすべて廃止したことで、船体の重心が安定し、嵐の中でも沈没しない船が完成した。 | 3. 風向きや海流の変化に左右されず、目的地へ向けた安定した航行が可能になった。 | 4. 電気モーターを利用することで、騒音を抑えて日本近海へ隠密に接近することが可能になった。 |
|---|---|--|--|
- 問12 吉田松陰が処刑される直接のきっかけとなった「安政の大獄」が、幕府によって行われた理由として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 長州藩が下関で外国船を砲撃し、四か国連合艦隊に敗北した責任を追及するため | 2. 薩摩藩と長州藩が秘密裏に軍事同盟を結び、武力による倒幕を計画したため | 3. 幕府が天皇の許可を得ずに調印した日米修好通商条約に対し、反対する勢力を弾圧するため | 4. 幕府がキリスト教の布教を阻止し、鎖国体制を再び強化しようとしたため |
|---|---------------------------------------|--|--------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 領事裁判権の承認と、関税自主権の欠如	幕末に結ばれたこの条約は、日本にとって一方的に不利な「不平等条約」でした。外国人が日本で犯罪を犯しても日本の法律で裁けない状態を「領事裁判権」の承認（治外法権の認可）といい、自国で輸入商品の税率を自由に決められない状態を「関税自主権の欠如」といいます。これらの回復は明治時代の外交における最重要課題となりました。
問2	答え 1 漂流民の保護という目的を持った非武装の外国船を攻撃した幕府の対応を、世界の情勢を知る蘭学者が批判した。	1830年代の日本では、モリソン号事件を通じて、幕府の無差別な「異国船打払令」の実行が国際的なトラブルを招く危険性が露呈しました。高野長英や渡辺崋山などの蘭学者は、海外情勢の知識に基づき、人道的な目的を兼ねた船まで攻撃する幕府の姿勢を批判しましたが、保守的な幕府はこれを体制への反逆とみなして処罰しました。これが、言論弾圧事件である蛮社の獄です。
問3	答え 1 安価な綿織物が大量に輸入されたことで、国内の綿織物業や綿作が大きな打撃を受けた。	開港後の貿易では、産業革命を経たイギリスなどから安価で質の高い綿製品（綿糸・綿織物）が大量に流入しました。これにより、それまで国内で自給自足的に行われていた綿作や手工業による綿織物業は価格競争に敗れ、深刻な打撃を被ることになりました。一方で、輸出向けの商品として需要が高まった生糸の原料となる養蚕業などは、現金収入を得る手段として大きく発展しました。
問4	答え 2 天保の薪水給与令	1842年に発令されたこの法令は、アヘン戦争の結果を受けた外交方針の変更です。幕府は1825年の「異国船打払令」によって外国船を力づくで追い払っていましたが、清の敗北を知り、同様の紛争が日本で起きることを防ぐために方針を転換しました。漂着した船には人道的な対応として燃料（薪）や水を与え、穏やかに帰帆を促すという内容です。
問5	答え 1 アヘン戦争	イギリスは清から茶を輸入し、銀が大量に流出する貿易赤字に苦しんでいました。これを打開するために植民地のインドから清へアヘンを送り込む「三角貿易」を行いました。清がアヘンを没収・廃棄したことで軍事衝突に発展しました。これが東アジアの近代化に大きな影響を与えるきっかけとなりました。
問6	答え 3 領事裁判権と関税自主権	幕末に結ばれた条約では、日本国内で罪を犯した外国人を日本の法律で裁くことができない「領事裁判権（治外法権）」を認め、さらに輸入品にかかる税率を日本側が自由に決定できない「関税自主権の欠如」という、国家の主権を制限される不平等な内容が盛り込まれました。これらを改正することは、明治政府にとっての最優先の外交課題となりました。
問7	答え 2 六波羅探題 → 南北朝の合一 → 禁中並公家諸法度 → 王政復古の大号令	六波羅探題は13世紀（1221年）の承久の乱の後に鎌倉幕府が朝廷の監視のために設置しました。南北朝の合一は14世紀末（1392年）に室町幕府の足利義満によって実現しました。禁中並公家諸法度は17世紀初（1615年）に江戸幕府が制定し、天皇の活動を制限しました。王政復古の大号令は19世紀（1867年）に発せられ、幕府を廃止して天皇中心の政治へと戻すことを宣言しました。
問8	答え 1 日本が輸入品にかかる税率を、自国の判断で決定することができない。	関税とは、国内の産業を保護するなどの目的で輸入品に対して課される税金のことです。日米修好通商条約では、この関税の率を日本側が自由に決められず、相手国との協議によって決めることとされました。これにより、安価な外国製品が大量に流入した場合でも高い関税をかけて国内製品を守ることが難しくなり、日本の経済に大きな影響を与える要因となりました。
問9	答え 2 四国艦隊の下関砲台占領	幕末の動乱は、まず1858年に大老の井伊直助が朝廷の許可を得ずに「日米修好通商条約」を締結したことから本格化しました。その後、攘夷（外国の排斥）を主張する長州藩が外国船を砲撃したものの、1864年にイギリス・フランス・アメリカ・オランダの連合艦隊に敗北する「四国艦隊の下関砲台占領」が起こりました。この敗北を経て、武力による攘夷の不可能を悟った長州藩は、1866年に坂本龍馬らの仲介によって薩摩藩と「薩長同盟」を結び、倒幕へと方針を転換しました。
問10	答え 4 アヘン戦争で清がイギリスに敗れたことを知り、強硬な攘夷政策による軍事衝突を避けようとしたため。	当時の幕府は、長年東アジアの強大国であった清がイギリスの軍事力に敗北したことに危機感を抱きました。無差別な攻撃を続けることでイギリスなどの列強と戦争になる事態を避けるため、1825年から続けていた異国船打払令を緩め、現実的な対応として薪水給与令を制定しました。
問11	答え 3 風向きや海流の変化に左右されず、目的地へ向けた安定した航行が可能になった。	蒸気機関による動力の確保は、従来の帆船が抱えていた「風がなければ進めない」「逆風では目的地へ向かうのが困難」という制約を打ち破りました。これにより、軍事的な機動力や貿易の効率が劇的に向上しました。なお、燃料が石炭から石油へと移行するのは19世紀末から20世紀にかけてのことであり、幕末当時は石炭が主要な燃料でした。
問12	答え 3 幕府が天皇の許可を得ずに調印した日米修好通商条約に対し、反対する勢力を弾圧するため	1858年、大老の井伊直弼は孝明天皇の許可（勅許）を得ないまま、アメリカと日米修好通商条約を締結しました。この専断的な行動に対し、吉田松陰などの尊王攘夷派や有力大名が激しく反発したため、幕府は自分たちの政策に反対する者たちを厳しく処罰しました。これが安政の大獄と呼ばれる弾圧事件です。